

## 会 議 録

### 1 会議名

令和5年度 第1回津有区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 自主的審議事項（公開）

・津有区の特長を生かした地域活性化策について

○津有区パンフレットについて

#### (2) 協議事項（公開）

・津有区アンケートの結果について

・地域活性化の方向性について

### 3 開催日時

令和5年4月17日（月）午後7時30分から午後8時30分まで

### 4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

### 5 傍聴人の数

1名

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：青木雄司、梅川康輝、大滝英夫、千代金治、相馬祐一、中島 功（副会長）、  
藤本孝昭（会長）、古川勝夫、古川 仁（欠席1名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

### 8 発言の内容（要旨）

#### 【山崎主事】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

## 【藤本会長】

- ・会議録の確認者：千代委員

次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」「津有区の特長を生かした地域活性化策について」の「津有区パンフレットについて」に入る。事務局から説明を求める。

## 【山崎主事】

本日の開会前に開催した、「第 1 回津有区パンフレット作成委員会」でのグループワーク結果について、各リーダーから報告していただきたい。

## 【藤本会長】

それでは、Aグループから報告する。Aグループでは、まず何を担当するのかという確認を行った。

レイアウトやコンテンツのたたき台を基に、皆さんの意見を聞きたいと話をしたところ、雄志中学校の校長先生から、レイアウト案の用紙を学校に貼り出して、子どもたちから付せんを貼ってもらってはどうかと提案をいただいた。

当然、雄志中学校には津有区以外の生徒もいるが、津有区以外の生徒たちが津有区をどう見ているかという視点でも書いてもらえるだろうということで、津有区の生徒に限らず、全体の生徒に書いてもらったらどうかとなった。

また、津有区のいろんなこと、特に昔の風習などを知るためには、年配の方の意見も聞きたいという話になった。

今度は具体的に話し合う中で、例えば生活基盤の「町内会紹介、町内配置図」は全て載せることはできないので、どこにどんな町内があるか、アウトラインを示すとして、さらにそれに「交通アクセス」も載せると分かりやすいということになった。さらに、昔の街道もぜひ知りたいという話になり、ぜひCグループにお願いしたいということになった。

それから「人口・世帯数・面積」に関しては、市で把握しているデータを提供してもらうこととし、さらに津有区の人口ピラミッドも載せたいという話が出た。

「工業団地」の関係では、例えばスキーエッジの製作は世界に誇る技術である。それから篠宮農機の話や、結核予防の柳沢先生の話も出てきた。

その中で一つ質問が出たのは、このパンフレットの対象は大人なのか子どもなのかということである。中身的には小学校高学年を最終ターゲットとして考えて、大人も見られるようにしたいという話をして、一応納得していただいた。

それから「季節の食、郷土料理」の話をした時に、例えば田んぼの時の小昼は何を食べたかという話が出た。ぼた餅だった人もいれば、サツマイモだった人もいた。また、祭りの時には赤飯を配るところもあれば、笹でくるんだ餅を食べたという人もいた。そういったこともぜひ調べられたら面白いという話も出た。

「風習」については、新保五ヶ字組合の成り立ちの話も出た。

それから、戸野目小は今年が150周年で、来年は上雲寺小が150周年だが、もともとは上雲寺小学校が戸野目小学校の分校であったということで、校歌が同じだという話があった。さらに荒屋や四辻にも分校があったという話も出たが、詳しくはCグループの担当になると思う。このような話をしていたところで時間になってしまった。Aグループでは以上である。

#### 【青木委員】

Bグループでは、津有の魅力について話し合った。

「地形や町並みの特色、自然」の関係では、田んぼの風景や津有区から見た妙高山、米山などの写真を発掘して、若干のコメントを付けながら紙面構成していければよいという話が出た。

「文化」に関しては、戸野目・四ヶ所の雁木通りから保阪邸などの資料がこれまでも色々出ているので、それらを使いながら構成していきたいと思っている。

次に「仕事」については、昔から津有区といえば農業ということで、農業に関する記述を入れたいと思っている。ただし、自分たちではなかなか難しい部分があるので、農協の上越支店の支店長と相談しながら、内容を詰めていきたい。

「産業」については、やはり圧倒的に農業や米づくりがメインになってくるので、例えば篠宮農機のもみすり機など、そういった技術も紹介したい。さらに、津有区にはどんな業種の事業所があるのかというデータも載せたいと考えており、その点は事務局からデータを提供願いたい。

最後に、「スポーツ」と「祭り」については、話し合った結果、項目としては掲載不要ということになり、削除の方向で進めたいと思っている。

そして、もう一つのメインである「まち歩きマップ」については、前の会議でも話したが、中学生の柔らかい頭で魅力あるマップを作っていただきたいと考えている。

Bグループの報告は以上である。

#### 【中島副会長】

Cグループでは、歴史や前島密を含めた偉人に関する内容を担当しているが、そもそも津有区はどこまでが範囲なのかという話が出て、それを古地図から調べていこうという話になった。

上杉景勝の時の地図から古い昔の国土地理院の地図とか、そういったものを使って移り変わりを見ていってはどうかという話になっている。

先ほども戸野目小学校と上雲寺小学校の150周年という話も出たが、この地域がどうして2つの地域から成り立っているのかも調べられたらよいという意見も出た。その中で津有郷についても調べられたらよいと思っている。さらに地図の中でいろいろな偉人の紹介もできればと思っている。

ただ、前島密の功績というのは、既にいろんなパンフレットで紹介されているので、載せきれない分はまた違う手法で考えればよいということになった。前島密は12歳くらいで津有から東京の方へ出てしまっているのので、津有にはあまり形のある資料が残っていない。そのため、今回は前島さんの人格形成というところに注目して、雪国で育った母の存在を紹介していきたい。Cグループの報告は以上である。

**【藤本会長】**

それでは、今ほどの報告に対して質問や意見を求める。

**【梅川委員】**

取材や撮影は誰がやるのか。

**【小林所長】**

文章のたたき台の作成や写真の収集については、まず事務局で取り掛かりたいと思っている。その先は、皆さんの中で得意な方がいれば文章を書いていただいたり、取材も手分けしてできればと思っている。

**【古川 仁委員】**

先ほどAグループとCグループで被るような内容が出ていたが、その場合、どちらのグループで担当することになるのか。

**【中島副会長】**

古川委員の言うとおりに、どの内容も関連する部分はある。それは一応全部出していたいて、どのページに掲載するかは後で調整すればよいと思う。

Cグループでも津有の範囲のほかに、津有という名前の由来の話も出たので、それも検討したいと思っている。

#### 【藤本会長】

何をどこに書くかについては、これから詰めていく中で調整したいと思う。  
ただ、津有の名前の由来についてはぜひ紹介したいということを確認した。  
ほかに何かあるか。

(発言なし)

先ほどAグループで方法論を申し上げたのだが、雄志中学校の校長先生からぜひ生徒にも意見を求めたいと話があった。子どもたちから出たものをすべて載せるわけではないが、子どもがどんな視点を持っているかを把握することはできるし、逆に言えば子どもたちにとっては地域学習にもなる。小学校の校長先生からも前向きな回答をいただいたので、そういう方向で準備をしていきたいと思う。

#### 【千代委員】

ほかのグループとラップするような内容も出てくるという話が先ほどあったように、何かの機会ですべての討議もできたらよい。本日のようにABCのグループに分かれたとしても、最後に全体で意見交換するような進め方はどうか。

#### 【藤本会長】

ストーリー性のあるパンフレットにするために、ページがスムーズに流れていくよう、全体の調整を図っていきたいと思う。

そのほか、全体の印象も含めて、まだ発言していない委員から一言ずつ発言願う。

#### 【古川 勝夫委員】

今日が顔合わせということで、時間的には短かったが、いろいろな意見を出していただいた。会長が言われたように、一つの流れるようなパンフレットができればよいと思う。

#### 【相馬委員】

初日で30分ぐらいグループに分かれて話し合ったが、意見がたくさん出てきて膨れ上がってしまい、パンフレットの完成に間に合うのか心配に思った。

#### 【大滝委員】

大体流れは分かったが、それを具体的にまとめられるか心配なところはある。今日のグループワークは時間が短かったので、今後はもう少し長めに時間を取れたらよいと思った。

#### 【梅川委員】

企画会議として、歴史博物館や前島記念館などから専門家の方もいらっしやっているので、これだけの人数で企画を出していけば良いものができると思う。雑誌づくりに似ている感じなので、私も楽しみながらやらせていただきたいと思います。

**【青木委員】**

意見というより技術的な質問だが、二次元コードを使う場合のリンク先はあるのか。

**【小林所長】**

事務局の第一案としては、既存の上越市のホームページに津有区地域協議会のサイトがあるので、そこで対応したいと考えている。第2案としては、PDF自体をリンク化することも考えている。

**【古川 仁委員】**

スケジュールに関して、今後は各グループが独立して打ち合わせすることになるのか。それとも今回のように合同でやるのか。

**【小林所長】**

それについてはこの後諮ろうと思っていたのだが、今後の会議の進め方として、当初はそれぞれ別日にグループごとに打ち合わせをすることを想定していた。それであれば、審議の時間を長く取れる。

ただし、それとは別にこの地域協議会の開催も毎月あるので、委員の皆さんの負担や事務局の負担を考えると、今回のように、午後6時からそれぞれグループに分かれて作業を行って、その後に地域協議会を開催するというやり方もある。今回は試験的にやってみたのだが、これで上手くできそうであれば、次回も同じように開催したい。

**【藤本会長】**

今の件に関して、委員の意見を求める。

**【千代委員】**

大事なものは時間の問題である。今日のように30分では意見を出し尽くせないなので、もう少し長めに時間を取れるようにしてもらいたい。

**【小林所長】**

今回は初回ということで最初の説明の時間を長くかかってしまったが、次回以降はすぐにグループワークに入っていただくことができるので、1時間から1時間半程度は取れると思う。

お集まりいただく編集委員の負担を考えると、長い時間で何度も集まっていただく

ことは難しいので、思い付いたアイデアがあればいつでも事務局に相談していただくことで、その分を補っていきたいと考えている。

**【藤本会長】**

事務局に一点お願いしたい。本日のグループワークの結果をまとめた資料を、ほかのグループのものも含めて編集委員へ記録として配付してほしい。そうするともっと深めることができると思う。

**【小林所長】**

そのように準備する。

**【藤本会長】**

進め方に関して色々意見があったが、時間の長さについては正副会長と事務局でもう少し検討したい。より良い方法を皆さんにご提示したいと思っている。次回は、本日のアイデアをもとに協議していくので、後日事務局から配付される本日の記録をもとに、自分の考えをある程度整理しておいていただきたい。

以上で「(1) 自主的審議事項」「津有区の特長を生かした地域活性化策について」を終了する。

次に「(2) 協議事項」「津有区アンケートの結果について」に入る。事務局から説明を求める。

**【山崎主事】**

- ・ 前回会議で配付したアンケート結果を基に意見交換を依頼

**【小林所長】**

- ・ 補足説明

**【藤本会長】**

アンケート結果を見て感じたことを各委員から発言願う。

まず私から感想を述べる。やはり少子高齢化がベースにあって、それをどう解決できるかという視点で眺めていかなければいけないと強く感じた。ただ、その少子高齢化は我々地域協議会のレベルでどれだけ解決を図れるかということ、難しい問題だと思ったのが正直な印象である。

**【中島副会長】**

このアンケート結果で思うのは、住んでいる分にはこの地域が好きだが、年を取って除雪も車の運転もおぼつかなくなったらどうしようという不安だと思う。私たちが

できることは何かと考えると、難しい問題だと感じた。

**【古川 仁委員】**

具体的に内容を見ると、少子高齢化とか上越市全体の状況と似ていると思った。ただアンケートを取るだけではなく、もう少し深く考えたほうがよいのかと思った。具体的には思いつかないが、上越市はアンケートを取った後どうしているのか。

**【小林所長】**

市でも市民の声アンケートというものを取っており、よく似た数字のデータがあったと私も思っている。それについては様々な手法で分析して、コメントを付けて市民に報告している。

今回の津有区アンケートについてもできる限り分析をしていくが、逆に皆さんが直感的に感じたことも、非常に良いデータの見方になり得るので、今日はそれをお聞きしたいと思っている。

**【古川 勝夫委員】**

回答者は60代から70代が多い。自分もそうだが、年を取った時に一番大変なのは雪や買い物など生活インフラの問題なので、そのような不安が結果に表れているのだと思った。

**【相馬委員】**

60代以上の回答が多く、若い人たちの回答が少ないということが第一印象であった。やはり年配の方は、自分の生活インフラや交通の便、雪かきなど、そういう心配があるのだと思った。

**【千代委員】**

私は、問1の「津有区は好きですか」という質問の回答について、年齢層の内訳を知りたい。若い人たちがどれだけ津有区に対して魅力を感じているのか知りたい。

**【小林所長】**

次回以降にお示しする。

**【大滝委員】**

少子高齢化は我々でどうにかできる問題ではないが、地域のためにお互いに知恵を絞ることも一つの方法だと思う。アンケート結果を見ると、やはり老後の心配が大きいのだと思った。

**【梅川委員】**

回答率が約 54%ということで、年代の円グラフを見ると、選挙の投票に行く人の割合に似ていると思った。若い人の政治離れや社会に対する無関心も関係しているかもしれない。

あとは観光的な面で、パンフレットの中に保阪邸や戸野目・四ヶ所の雁木なども取り入れられればよいと思った。

#### 【青木委員】

このアンケートを見て、個人的に知りたいと思ったのは、50代までのいわゆる現役世代のデータの集計である。

もう一つ、このアンケートで一番大事なのは一番最後の問題である。「最も優先すべき取組は何か」という質問に対する回答が断トツで「生活インフラ」ということになると、それは行政の問題である。行政としてどう考えるかということに触れておかないと、ただアンケートを取っただけになってしまう。四ヶ所とか戸野目の雁木通りでは、この前の豪雪で2週間以上車が通れなかった。行政が絡む問題については、それなりの回答をしていただかないと、区の皆さんが見たときに、ただアンケートをしただけかという話になってしまう。

#### 【藤本会長】

年代別の分析も必要だという意見がいくつかあったので、その辺は事務局から整理願いたい。アンケートの分析については、本日いただいた意見を基に、次回以降少しずつ進めていく。

以上で「(2) 協議事項」「津有区アンケートの結果について」を終わる。

最後に「(2) 協議事項」「地域活性化の方向性について」事務局から説明願う。

#### 【山崎主事】

- ・アンケート結果の分析が終了してから協議することとし、本日は協議しないことを説明

#### 【藤本会長】

今の説明に対して、意見等あるか。

(発言なし)

本日の議題は以上である。

#### 【藤本会長】

- ・次回の協議会日時：5月29日（月） 時間は別途調整

- ・会場：津有地区公民館 大会議室

同日に第2回パンフレット作成委員会を開催する。

その他、何かあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。